

チケットのお求め方法 *発売初日は10:00から電話とインターネットで受付し、窓口販売は翌日からとなります。

電話予約 三鷹市芸術文化センター Tel:0422-47-5122 (10:00-19:00)

窓口販売 販売場所: 芸術文化センター / 三鷹市公会堂 (さんさん館) / 美術ギャラリー
受付時間 10:00-19:00 休館日 月曜日 (月曜日が休日の場合は開館し、休日を除く翌日・翌々日が休館)
*美術ギャラリー臨時休館日 10/24 (火) ~ 28 (土) *美術ギャラリーは展覧会開催中のため、9/20 (水)、10/11 (水) は開館いたしますが、チケット販売・施設利用申込の窓口業務は休止させていただきます。

インターネット予約 (要事前登録)

パソコン <http://mitaka-art.jp/ticket> 携帯 <http://mitaka-art.jp/ticket-m> (座席自動採番)

ご予約後、チケット代金の郵便振込ができます

口座番号〈ゆうちょ銀行〉00190-5-569156 加入者名 三鷹市芸術文化センター

*備え付けの「払込取扱票」をご利用の上、通信欄に〈予約番号〉をご記入ください。*振込手数料はお客様のご負担になります。
*普通郵便の場合82円、簡易書留ご希望の場合392円を加算してお振り込みください。*お振り込み後、10日程度でチケットをお届けします。

Mitaka Arts Club (マークル) 会員募集中!! 年会費 2,000円

会員特典: チケットの優先予約・割引 (1公演2枚まで)、ポイントの還元 (ご利用額の5%)、
情報誌の送付、チケットの無料送付 (口座会員のみ)、レストランの割引

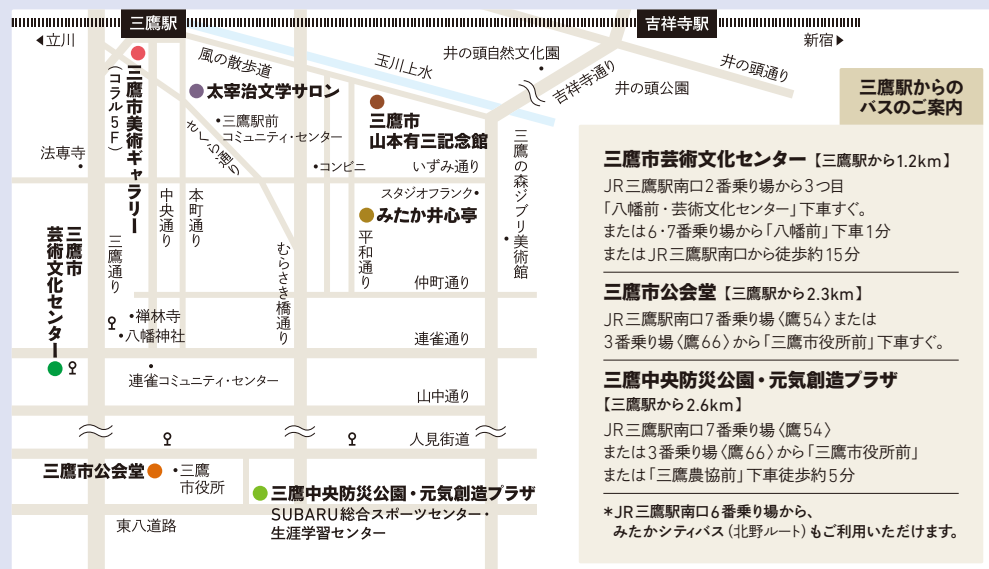
財団主催のチケットまたは半券で、三鷹駅周辺等のパートナーショップの特典が受けられます!

講座申込システム <https://www.kouza.mitakagenki-plaza.jp/>

スポーツ教室や市民大学、生涯学習講座などをインターネットからお申し込みできます。



公演事業では、特に表示のない場合、未就学児のご入場をお断りしています。
このマークがついている公演には託児サービスがあります。 料金: 500円
対象: 1歳~未就学児 定員: 10名 お申込み: 各公演の2週間前までに芸術文化センターへ



発行 公益財団法人 三鷹市スポーツと文化財団

〒181-0012 三鷹市上連雀6-12-14 三鷹市芸術文化センター内 <http://mitaka-sportsandculture.or.jp/>

2017.8.29
designed by Kentaro Kato, Fumiki Tomioka

September 2017

公益財団法人
三鷹市スポーツと文化財団
情報誌「マークルプラス」

MARCL+ 137

音楽・演劇・美術・文芸・スポーツ・生涯学習

Interview

シュテファン・ドール (ホルン) P3
アレクサンダー・クリッヒェル (ピアノ) P4
三遊亭兼好 (落語) P15

Pick up

展覧会の絵ワークショップ レポート P6
MITAKA "Next" Selection 18th
風琴工房 P12
日本のラジオ P13
牡丹茶房 P14

Music

トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア P5

Theater

CINEMA SPECIAL 三回忌・原節子 P7
城山羊の会『相談者たち』P9
柳家さん喬 P17
林家たい平 P18
春風亭昇太 P19
春風亭小朝 P19
寄席井心亭 P18

Art

企画展 届かない場所 高松明日香展 P1

Literature

企画展示 最晩年作「犯人」と「如是我聞」P20
太宰治作品朗読会 P20

Sports

サッカー教室 P21
スポーツ教室 P22

Lifelong Learning

“楽しむ”子育て P23
親子折り紙講座 P24
シルバー世代の片付け方 P24



《最後にこちらを向いた人》(部分) 2017年

届かない場所 高松明日香展

2017年10月22日(日)まで開催中
三鷹市美術ギャラリー

Art P1



公益財団法人 三鷹市スポーツと文化財団

届かない場所 高松明日香展



The Unreachable Place

10月22日(日) まで開催中

会場 三鷹市美術ギャラリー Tel: 0422-79-0033

三鷹市下連雀3-35-1 *JR三鷹駅(南口)前 CORAL 5階

開館時間: 10:00-20:00 (入館は19:30まで)

休館日: 月曜日(9/18、10/9は開館)、9/19(火)、10/10(火)

観覧料: 会員480円 / 一般600円 / 65歳以上・学生(大・高) 300円

*中学生以下および障害者手帳等をお持ちの方は無料



《動き出す》(部分) 2017年



《触れる》2015年

協力: GALLERY エクリュの森



《シカがいる》2017年

香川県高松市出身の高松明日香(1984-)は広島県尾道市でデザインと絵画を学び、現在は岡山県倉敷市の大学で教職に就きながら高松市の自宅で制作活動に励んでいます。2009年香川での初個展の後、東京、岡山、静岡などで個展を開催のほか、グループ展にも数多く出品、岡山県や香川県の芸術展で大賞や新人賞を受賞するなど、飛躍的な活躍を見せている若手アーティストです。

高松明日香はアクリル絵の具を用い、柔和で瑞々しいタッチにより独特の写実的表現を追求し続けています。対象となるのは、風景、人物、静物、動物などさまざまであり、自分の周りにある景色や、映画の中のワンシーンなど、自分が実際に見たことのあるもの、ないものを自在に題材として紡いでいます。独特のトリミングと白みがかった色調からは、リアルな表現でありながら、どこか夢の中で見たシーンのような、また、懐かしいような感覚を覚えます。引き伸ばして切り取られたような画面、後ろ向きで顔の描かれていない人物からは、逆に切り取られ描かれていない部分への関心と想像を見る人に駆り立てます。彼女にとっては描いたそのものではなく、実は描いていない部分を描きたい、本当に見てほしいものは

カンヴァスの外、つまり「届かない場所」にあるのではないのでしょうか。

今回は、2009年以降に描かれた164点の作品を何点ずつか組み合わせ、そこに作家自身がタイトルをつけ再構成した作品として展示します。「本日は快晴なり」「シカがいる」「弟のため池」「自分が何度も映る」など、そのタイトルも内容が想像できるもの、できないものそれぞれで興味を惹きます。東京の美術館では初めての大規模な個展にどうぞ期待ください。

(広報担当 市川亜樹子)



《誓い》(部分) 2017年

アンサンブル・ウィーン＝ベルリン シュテファン・ドール

2015年7月に風のホールに初登場したアンサンブル・ウィーン＝ベルリンは、ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、ウィーン響のそれぞれ首席奏者を務め、ソリストとしても活躍する管楽器のトッププレーヤーから成るグループです。今回、2度目の登場に先駆けて、メンバーの取りまとめ役でもある、“キング・オブ・ホルン”、シュテファン・ドールさん（ベルリン・フィル首席ホルン奏者）にコメントをお寄せいただきました。

©Monika Rittershaus



メンバーそれぞれのキャラクターについて

5人それぞれのキャラクターというのは、なんと申し上げてよいか、迷ってしまいますね。申し上げられることは、我々5人は、とても仲の良い友人であり、そして、互いを尊敬尊重しあう仲である、ということです。それぞれの個性が交じり合い響きあい、そして何よりも音楽を楽しむという気持ちが、アンサンブル・ウィーン＝ベルリンを作り上げている、ということですね。

今回の公演のプログラムについて

どの曲もハイライトであり、これを聴いてください！という曲を選ぶことはできません。後半のイタリア人作曲家の曲が並んでいるのは、とてもユニークだと思います。ちりばめられた現代曲は、演奏する我々も楽しいですし、聴いてくださるお客さまもきっと楽しんでいただける

ものだと思っています。現代曲だからといって、怖がらないでくださいね！

ずばり、ドールさんがお考えになる 木管五重奏の魅力とは？

それぞれの楽器の難しさ、異なる音色をブレンドし、一つの響き、一つの音を作り上げていくことが演奏をする我々の醍醐味、そして魅力です。

最後に、コンサートに向けて お客さまへのメッセージをお願いします。

また再び、三鷹で皆さんにお目にかかれることを、とても楽しみにしています！前回とはまた違うプログラムです。新たな魅力を感じていただけたと思います。ぜひ、コンサートにいらしてください！

協力：株式会社ヒラサ・オフィス インタビュー：音楽企画員 大塚真実

公演情報 アンサンブル・ウィーン＝ベルリン

10月1日(日) 15:00 開演**チケット発売中** **全席指定** **託児あり** *未就学児は入場できません。会員 S席 5,400円・A席 4,500円 / 一般 S席 6,000円・A席 5,000円
U-23 (23歳以下/A席限定) 3,500円

出演 カール＝ハインツ・シュッツ (フルート/ウィーン国立歌劇場管弦楽団及びウィーン・フィルハーモニー管弦楽団首席ソロ・フルート奏者)
ジョナサン・ケリー (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団首席オーボエ奏者)
アンドレアス・オッテンザマー (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団首席クラリネット奏者)
リヒャルト・ガラー (ウィーン交響楽団首席ファゴット奏者)
シュテファン・ドール (ベルリン・フィルハーモニー交響楽団首席ホルン奏者)

曲目 パルトーク：ルーマニア民俗舞曲 (木管五重奏版)、ヒンデミット：小室内音楽、ニーノ・ロータ：ささやかな音楽の捧げもの
レスピーギ：木管五重奏曲ト長調、ベリオ：オーバス・ナンバー・ズー (作品番号献番) ほかに



©Karlinsky

アレクサンダー・クリッヒェル

今年、三鷹に初めて登場するドイツの新鋭ピアニスト、アレクサンダー・クリッヒェルさんの演奏を楽しんでいただくためにメールでインタビューをしました。



©Henning Ross

ピアノを始めたきっかけについてお聞かせいただけますでしょうか。

私は子どもの頃、とても活発でエネルギーが有り余っていました。それは今でもそんなに変わりませんが…。家にはピアノがあり、母が趣味で弾いていました。ある日、サンクトペテルブルク出身のナタリア・ポグリエワ先生を探してきて私を紹介しました。彼女はドイツ語を話さず、私はロシア語を話しませんので、音楽を共通の母語のように学びました。当時、私たちは言葉でのコミュニケーションはさほどできなかったのですが、音楽を通じて会話したのです。このピアノの学び方は、音楽に対して隔たりというものが一切ありませんでしたから、私にとって最適な方法でした。今も昔も、音楽は私が感じるものすべてを表すための手段です。音楽は私であり、私は音楽なのです。

今回のリサイタルでは、最新アルバム『ラヴェル：ピアノ作品集』にも収録され、高度なテクニックを要する難曲としても知られる『夜のガスパール』を中心に、ラヴェルと関係の深い二人の作曲家の代表的な作品を選ばれています。プログラムの構成、聴きどころについてお聞かせください。

モーリス・ラヴェルは、2017年に私が取り組む中心的存在です。このミステリアスな人物が一体どういう人なのかを知りたくて、全曲ラヴェルのCDもリリースしました。ラヴェルについてはあまり多く知られておらず、彼の作品もあまりに多彩で、彼という人間を絞り込むことができないのです。ラヴェルの作品はとても感情的

である一方、非常に知的でもあります。自然の美しさや死と関係するものが多く、色調は目が眩むほどの明るい色から、どこまでも暗い闇のような黒まで表現しているように思えます。

いったいどうやってそれだけの幅を持った印象や感情を作り出すことができるのか？彼にささげるアルバムを作ろうと考えたときに、自問しました。ムソルグスキーとラヴェルの間にはとても強い繋がりがあります。ラヴェルはムソルグスキーのもっとも有名な『展覧会の絵』をオーケストラ版に編曲しました。今回、三鷹ではこの曲を演奏します。また、『夜のガスパール』と『展覧会の絵』はともに、私たちが内に秘めている感情に対峙する旅なのです。ガーシュウインの『ラプソディ・イン・ブルー』は彼のもっとも有名な作品であり、前述の2曲とまったく異なったキャラクターを持っています。

お客さまへのメッセージをお願いします。

三鷹市芸術文化センターでは、私にとってとても大事なプログラムをお届けします。すべての曲がそれぞれと繋がっており、私がなぜこれらの曲を選んだのか、そしてそこにどんなに特別なものを見つけたかということ、皆さんにお伝えできればと思っています。

今回初めて三鷹で演奏させていただけること、今から待ちきれません！

協力：株式会社パシフィック・コンサート・マネジメント
インタビュー：音楽企画員 大塚真実

ここで紹介しきれなかったインタビューの全文は、
財団ウェブサイトに掲載しております。

公演情報 アレクサンダー・クリッヒェル ピアノ・リサイタル

12月2日(土) 15:00 開演 **チケット発売中** **全席指定** **託児あり** *未就学児は入場できません。

会員 S席 4,050円・A席 3,150円 / 一般 S席 4,500円・A席 3,500円 / U-23 (23歳以下/S席・A席共通) 2,500円

曲目 ガーシュウイン：ラプソディ・イン・ブルー (ピアノ独奏版)、ラヴェル：夜のガスパール、ムソルグスキー：組曲『展覧会の絵』

76

Tokyo
Mitaka
Philharmoniaトウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア
第76回定期演奏会
オール・モーツァルト・プログラムミタカ・フィルの名手たちが繰り広げる、
モーツァルトの饗宴沼尻竜典
(音楽監督・指揮)

2018年3月11日(日) 15:00開演

14:30より、みとかジュニア・オーケストラのプレ・コンサートがございます。

チケット発売日 会員9月14日(木) / 一般9月21日(木)

全席指定 16歳以下 託児あり *未就学児は入場できません。

会員S席4,500円・A席3,600円 / 一般S席5,000円・A席4,000円

U-23(23歳以下/S席・A席共通)3,000円

●三鷹市内在住・在学の小学生から高校生1,500円
会員・一般券ご購入者と同様の場合のみ適用(電話予約のみ)

♪曲目 モーツァルト:

- ◆ディヴェルティメント ニ長調 K.136
- ◆オーボエ、クラリネット、ホルン、ファゴットと
管弦楽のための協奏交響曲
変ホ長調 K.297b (K. Anh. C14. 01)
金子亜未 (オーボエ)、澤村康恵 (クラリネット)、
木川博史 (ホルン)、長 哲也 (ファゴット)
- ◆交響曲第40番 ト短調 K.550

トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア (管弦楽) ©YUSUKE TAKAMURA

モーツァルトはオペラ、交響曲、協奏曲、室内楽、器楽曲、声楽曲とあらゆるジャンルに名曲を残しました。芸術文化センター開館時から1999年7月まで続いたシリーズ「モーツァルトを聴こう!!」のオーケストラとして産声を上げたトウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア (以下、ミタカ・フィル) が、このたび、2003年6月以来実に約15年ぶりに、「オール・モーツァルト・プログラム」をお贈りします。

プログラム冒頭を飾る「ディヴェルティメント ニ長調 K.136」は、16歳のモーツァルトが、二度目のイタリア旅行の後に手掛けた作品で、弦楽合奏で演奏いたします。晴れやかな気分にあふれたこの作品からは、若さあふれるみずみずしい感性が聴き取れることでしょう。「オーボエ、クラリネット、ホルン、ファゴットと管弦楽のための協奏交響曲」は、19世紀半ばに

モーツァルト研究家、オットー・ヤーンの遺品から発見された曲です。モーツァルトがバリの有名な公開演奏会で演奏するために作曲しながら、実際には演奏されず、消息不明となった「フルート、オーボエ、ホルン、ファゴットのための協奏曲変ホ長調」の編曲と考えられており、それぞれの独奏楽器の個性が見事に生かされた作品です。コンサートを締めくくするのは、モーツァルトの交響曲の中でも人気の高い、第40番です。

紫綬褒章を受章して、パッション溢れる精緻な音楽作りに今、熱い視線が注がれている指揮者、沼尻竜典。彼とメンバーとの活発なコミュニケーションから生まれ、風のホールで育まれてきた音は、まさに、「ヌマジリズム」の結晶といえるでしょう。モーツァルトの魅力満載のひとときを、どうぞお楽しみください。

リハーサル見学会 2018年3月10日(土) 14:00-15:00 定員:60名

本公演の前日に行われるリハーサルの一部をご覧ください見学会を開催します。

【要予約】Tel: 0422-47-5122 【受付開始】会員9月14日(木) / 一般9月21日(木)

【参加方法】本公演のチケット持参の方は無料。見学会のみご希望の場合は、当日500円をいただきます。

好評
企画

ワークショップ レポート

展覧会の絵
ワークショップ

風のホールが美術館になる!?

クラシック音楽の魅力に出会う
訪問演奏とコンサート

インターネットやCDでも手軽に音楽を聴ける時代だからこそ、子どもたちに生のクラシック音楽の魅力を感じたい。三鷹市芸術文化センターではそんな願いを込めて、プロの音楽家が市内の小学校へ訪問する活動を行っています。この訪問演奏に参加した音楽家が、毎年1月にニューイヤー・ファミリーコンサートに出演し、毎年多くのお客さまにご来場いただいています。2018年のメインの曲は、ロシアの作曲家、ムソルグスキーが作曲した組曲『展覧会の絵』です。

私たちの作品が音楽絵本になる!
200点以上の作品を鑑賞しながら
目と耳で楽しむコンサート

公演に先立ち、6月から7月の計4日間、三鷹市内在住のピアニスト中川賢一さんが、東三鷹学園三鷹市立第一小学校を訪問し、5年生108人と『展覧会の絵』をテーマに音楽 & 図工ワークショップを開催しました。子どもたちは、教室で音楽を聴いてイメージをふくらませる練習を行い、中川さんが繰り返し演奏する『展覧会の絵』の音のシャワーを浴びながら作

品を制作しました。今回、子どもたちには曲名を伝えずに、純粋に音を聴いて思い描いたイメージのみで制作に取り組んだことで、一つとして同じものはない、人数分の『展覧会の絵』の世界が生まれたのです。

こうして出来上がった200点以上の作品を、来年1月に開催するニューイヤー・ファミリーコンサートで、演奏に合わせて舞台上のスクリーンに投影します。

ムソルグスキーが、友人の画家ハルトマンが遺した絵画作品から得たインスピレーションを基に、組曲『展覧会の絵』を作曲してから140年以上経った現在、今度は子どもたちが彼の音楽から得たイメージを絵画作品にしました。次は皆さまが、目と耳でこの壮大な音楽物語を体験する番です。風のホールが“美術館”になる日をどうぞお楽しみに!

(音楽担当: 齊藤久美子)

ピアニスト
中川賢一さん

財団公式YouTubeチャンネルで、ワークショップの詳細を9月上旬に公開! ぜひご覧ください。

公演情報

小学校訪問演奏アーティストによる ニューイヤー・ファミリーコンサート2018

●小学生からのクラシック『展覧会の絵』 2018年1月21日(日) 15:00開演

【関連公演】0歳から入場OK!

●赤ちゃんからのクラシック『展覧会の絵』 2018年1月20日(土) 14:00開演

チケット発売日 両公演とも11月上旬予定

*詳細は10月31日発行予定の情報誌 MARCL*138をご覧ください。



芸術文化振興基金助成事業

CINEMA SPECIAL

三回忌・原節子

「麦秋」©1951松竹株式会社

各回2本立て / 昼夜入替制

1本目と2本目の間に、約30分間の休憩あり

全公演 昼の部 11:00 / 夜の部 16:00 上映開始 *未就学児は入場できません。

全席指定 各回 会員900円 / 一般1,000円 / 学生800円

特別協力：東京国立近代美術館フィルムセンター 協力：東宝株式会社、松竹株式会社、日活株式会社

平成二十七年九月五日。

多くの人々の、女優・原節子への再会の願いを叶えること無く、一人の女性として、会田昌江は、静かに、その生涯を閉じる。

享年、九十五歳。

それはまるで、ただの一度も引退の言葉を口にする事なく、四十二歳の若さで銀幕を去った、あの時のように。静かに。

三回忌、原節子。

もう一度、会いたい。

【原 節子】

1920年(大正9年)6月17日、神奈川県橋本地区保土ヶ谷町(現在の横浜市保土ヶ谷区)に生まれる。本名、会田昌江。1935年(昭和10年)8月、15歳の時に、田口哲監督作品『ためらふ勿れ若人よ』でデビュー。その映画での役名「節子」をもとに、当時の撮影所長が「原 節子」の芸名をつけ、以後、スタッフからは「お節っちゃん」と呼ばれる。その後、生涯で100本を超える映画に出演したが、1962年(昭和37年)11月に封切られた稲垣浩監督作品『忠臣蔵 花の巻、雪の巻』を最後に、42歳の若さで銀幕から去り、以後、表舞台に出ることは一切無かった。2015年(平成27年)9月5日死去。享年95歳。

【お客さまへ】

上映に際しましては、試写を行うなど最善を尽くしておりますが、製作年数が古いため、フィルムの状態(映像・音声等)が悪い場合がございます。ご了承のうえ、ご覧いただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

	分数	昼の部	夜の部
青い山脈	92	11:00-12:32	16:00-17:32
続青い山脈	90	13:05-14:35	18:05-19:35

空前の大ヒットを記録し、原節子の人気を不動のものとした、戦後を象徴する名画『青い山脈』



©1949東宝株式会社

『青い山脈』(東宝=藤本プロ/1949年/92分/白黒/35mm)

監督：今井 正 原作：石坂洋次郎 脚本：今井 正、井手俊郎
出演：原 節子、池部 良、杉 葉子、龍崎一郎、若山セツコ、木暮実千代

戦後の民主主義を、若者たちの自由闊達な男女交際の姿を中心に明るく描いた、石坂洋次郎原作のベストセラーの映画化であり、暗い世相を振り払う象徴として、空前の大ヒットを記録。原節子の人気を不動のものとした。女学校時代から、将来の夢として“教師”になることを思い描いていた原節子が、憧れだった“教師”の役を、渾然と演じている。

前作の一週間後に封切られ、こちらも大ヒットを遂げた、『続篇』にして完結篇。



©1949東宝株式会社

『続青い山脈』(東宝=藤本プロ/1949年/90分/白黒/35mm)

監督：今井 正 原作：石坂洋次郎 脚本：今井 正、井手俊郎
出演：原 節子、池部 良、杉 葉子、龍崎一郎、若山セツコ、木暮実千代

前作の一週間後に封切られた「続篇」であり、こちらも大ヒットを記録。口では民主主義を唱えながら、実際には古い固定観念に縛られ続けている人々に、新しい時代の自由な風を吹かそうと奮闘する原節子の姿が、スクリーンいっぱいに、爽やかに広がっていく。西条八十作詞、服部良一作曲の主題歌も、藤山一郎の歌声にのせて、国民的愛唱歌となった。

10月14日(土)

チケット発売日 会員9月21日(木) / 一般9月22日(金)

	分数	昼の部	夜の部
誘惑	85	11:00-12:25	16:00-17:25
白痴	166	12:55-15:41	17:55-20:41

その、受け入れ難き夫の裏切りに、凄まじきまでに^{たぎ}滾る女の業が、スクリーンを圧倒する。



©1948松竹株式会社

『誘惑』(松竹大船/1948年/85分/白黒/16mm)

監督：吉村公三郎 脚本：新藤兼人
出演：原 節子、佐分利 信、杉村春子、山内 明、殿山泰司、文谷千代子
恩師の墓前に参った矢島(佐分利)は、亡き恩師の娘である女子大生の孝子(原)と出会う。やがて、彼女の境遇を聞いた矢島は、住み込みの家庭教師として自宅に招き入れるが、折しも、妻の時枝(杉村)は病院で療養中であり……。許されざる恋の狭間に揺れる原節子と、病の床で嫉妬心をむき出しにする杉村春子の凄みが、スクリーンを圧倒していく。

他の監督作品では観られない、黒澤でしか描くことのできない、原節子の圧倒的な、視線。



©1951松竹株式会社

『白痴』(松竹大船/1951年/166分/白黒/35mm)

監督：黒澤 明 脚本：黒澤 明、久板栄二郎 原作：ドストエフスキー『白痴』
出演：原 節子、森 雅之、三船敏郎、久我美子、志村 喬、千秋 実
黒澤明監督が、敬愛するドストエフスキーの原作である『白痴』を下敷きに、舞台を19世紀のロシアから、戦後の札幌に置き換えて描いた渾身の一作。美貌に満ちつつも、どこか陰のある謎めいた女性を、二度目の黒澤作品となる原節子が、緊張感に満ちた演技で魅せる。他の監督作品では観られない、黒澤でしか描けない原節子の視線が、ここにある。

11月18日(土)

チケット発売日 会員10月12日(木) / 一般10月13日(金)

	分数	昼の部	夜の部
お嬢さん乾杯	89	11:00-12:29	16:00-17:29
麦秋	125	13:05-15:10	18:05-20:10

喜劇映画のヒロインとして、原節子が伸びやかに躍動する、生涯唯一の木下恵介監督作品。



©1949松竹株式会社

『お嬢さん乾杯』(松竹大船/1949年/89分/白黒/35mm)

監督：木下恵介 脚本：新藤兼人
出演：原 節子、佐野周二、佐田啓二、村瀬幸子、東山千恵子、坂本 武
自動車修理工場を経営する圭三(佐野)は、仕事も順調で充実した毎日を送っていたが、周りの世話好きに促されて、渋々見合いをすることに。しかし、そこに現れた元華族の令嬢・泰子(原)に思わず一目惚れしてしまい……。純情な新興成金の圭三と、訳ありでお見合いに臨んだ元華族・泰子の恋愛喜劇を、名匠・木下恵介監督がテンポよく仕上げていく。

あの、原節子と杉村春子の名シーンが、観る者の心を揺さぶって離さない、時を越えても色褪せぬ、珠玉の名作。



©1951松竹株式会社

『麦秋』(松竹大船/1951年/125分/白黒/35mm)

監督：小津安二郎 脚本：野田高梧、小津安二郎
出演：原 節子、笠 智衆、佐野周二、淡島千景、杉村春子、二本柳 寛
北鎌倉に居を構え、三世代が同居して穏やかに暮らす間宮家にとって、唯一の心配事は、適齢期を迎えても一向にその素振りをみせない長女・紀子(原)の結婚のことだった。気を揉んで周囲から持ち込まれる縁談話に、いつしか家族の意見は割れ、平穏だったはずの間宮家に、さざ波が立ち始める。そんなある日、紀子はある決断をするのだった……。

12月16日(土)『東京の恋人』『めし』

チケット発売日 会員11月16日(木) / 一般11月17日(金)

2018年1月27日(土)『驟雨』『東京物語』

チケット発売日 会員12月14日(木) / 一般12月15日(金)

2018年2月17日(土)『女であること』『智恵子抄』

チケット発売日 会員1月25日(木) / 一般1月26日(金)

2018年3月10日(土)『娘・妻・母』『秋日和』

チケット発売日 会員2月15日(木) / 一般2月16日(金)

人間関係を、深く鋭く、そしてユーモアに満ちたセリフで描き切る。ここにしかない、ここでしか味わえない、癖になる、大人の会話劇。



©『水仙の花 narcissus』舞台写真 (2015年)
三鷹市芸術文化センター星のホール



山内ケンジ
撮影：尾脇雄介

第59回岸田國士戯曲賞受賞。
その舞台に、今、最も注目が集まる山内ケンジの最新作！

城山羊の会『相談者たち』

作・演出 山内ケンジ

出演 吹越 満、安澤千草、橋本 淳、村上穂乃佳、鄭 亜美、折原アキラ

「別れ話」についての話です。
「音楽には2種類しかない。いい音楽と悪い音楽だ」と言ったのは、確かデューク・エリントンだったでしょうか。
私は以前からこう感じているのです。人間には2種類いる。簡単に別れられる人間と、とても苦労して別れる人間と。
ひと言で別れと言ってもいろいろあります。
男女の別れもあれば、同性、友人、部屋のモノ、喫煙やクスリ等中毒との別れもあるし・・・
もちろん最大の別れは死、なのでしょう。
今回はその中でも最も卑近で平凡な、「離婚」についてです。なおかつ苦労して別れる話です。
ここで大事なことは、別れることは決まっているということです。初めから。
ではなぜこれほどまでに苦労するのか。
このことを皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

11月30日(木)～12月10日(日) 全15公演

	11/30 (木)	12/1 (金)	2 (土)	3 (日)	4 (月)	5 (火)	6 (水)	7 (木)	8 (金)	9 (土)	10 (日)
15:00			★【託】	★	休憩日		☆	☆		●	●
19:30	★	★	★【託】	★		●	●	●	●	●	

【託】…託児あり
★…早期観劇割引
☆…平日昼公演割引

チケット発売日 会員 10月19日(木) / 一般 10月20日(金)

全席自由 (日時指定・整理番号付) 5歳以上 託児あり *12/2(土)のみ

【会員】前売3,400円・当日3,600円 【一般】前売3,800円・当日4,000円

【学生】2,000円(前売・当日とも) 【高校生以下】1,000円(前売・当日とも)

★早期観劇割引 ☆平日昼公演割引 の回は、会員・一般のみ各200円引き

*未就学児は入場できません。

今回の公演に寄せて、 山内ケンジさんからのメッセージ

城山羊の会は、通常半年に1本、新作を発表しているのですが、昨年の12月に上演した「自己紹介読本」(下北沢小劇場B1)以来なので、ちょうど1年ぶりの公演となります。いわゆる「満を持して」というやつかもしれません。そして「満を持して三鷹で」です。
城山羊の会が三鷹市芸術文化センターでやらせていただくのもなんと回目。最近では映画も撮ったりしている私ですが、三鷹でだからこそできる、自由、実験、遊び、諧謔…。やはり私にとって演劇活動ほど重要なファクターはないのです。どうぞご期待くださいませ。



©『水仙の花 narcissus』舞台写真 (2015年)
三鷹市芸術文化センター星のホール

▼『相談者たち』CAST



吹越 満



安澤千草



橋本 淳



村上穂乃佳



鄭 亜美



折原アキラ



【城山羊の会 プロフィール】

山内ケンジの脚本、演出による演劇プロデュース・ユニット。2004年「CMディレクター山内健司の演劇」として故深浦加奈子を主演に迎え、『葡萄と密会』で演劇活動開始。2006年に制作プロデューサー城島和加乃と『城山羊の会』発足。年に1回～2回のペースで定期的に公演を行っている。

HP | <http://shiroyaginokai.com/>
Twitter | @shiroyaginokai

【山内ケンジ プロフィール】

大ベテランのCMディレクターとして、NOVA、クオーク、TBCのナオミ、湯川専務、第一生命新鮮組、にゃんまげ、トヨエツのトライアングル、ソフトバンク白戸家など1万本以上のCMを作ってきたが、2004年に城山羊の会を結成。2014年、『効率の優先』で第58回岸田國士戯曲賞最終候補に。2015年、『トロワグロ』で第59回岸田國士戯曲賞を受賞。また、2011年には『ミツコ感覚』で長編映画監督としてもデビュー。その後2015年『友だちのパパが好き』2016年『At the terrace テラスにて』と、続々と作品が封切られている。

演劇

10 芸術文化センター星のホール

さんゆうてい けんこう

Interview

三遊亭兼好

前座の頃から、師匠・三遊亭好楽に、
「お前は遅く入ったのだから、
かなり先の方を見ないと駄目だよ。
“真打になって数年後の自分”を、
今から考えてないと駄目だよ。」
と、言われてきました。

毎年春に開催している、桃月庵白酒さんとの二人会も毎回大盛況！
鋭い人間観察から繰り出される、ほどよい匙加減の毒舌も人気の秘訣！
まさに一度聴いたら癖になる、軽快な語り口の実力派、三遊亭兼好さん。
三鷹での初めての独演会を前に、お話をうかがいました。

ご出身は福島県の会津若松ですが、
どんなお子さまでしたか？

兼好 市内の下町で生まれ育ったのですが、ある意味子どもらしい子どもで、毎日外で遊び、勉強はせず(笑)。会津は剣道が盛んな土地柄なので、中学に入ったら部活動は剣道部で、さらに近所の道場でも剣道を習っていましたが、高校に入るとラグビー部に入りました。運動は好きで、割と足も速いし、運動神経も良かったんです。こう見えて(笑)。で、大学は東京だったのですが、「笑点」も見てなかったし、サークルも漫画研究会とラグビーサークルでしたし、まだ落語には出会ってなくて。で、やがて就職して、割とすぐに結婚することになりまして、いろいろあって転職し、タブロイド紙の編集をすることになったんです。そんなある日、焼肉屋さんに広告を取りに行ったら「今度、立川談志師匠を呼んで落語会をやるから、その取材記事も載せてくれ」と言われて、初めてちゃんと落語を聞いたんです。会場は超満員で、大爆笑の渦でしたが、私は全然興味が湧かなくて(笑)。で、その後、27～28歳の頃に、築地の魚河岸に転職したのですが、仕事が深夜2時に始まって正午に終わるのだけど、飲み屋は開いてないしどうしようと思っていたら、「寄席というのがあるじゃ

ないか」と(笑)。それで、自分から落語会に足を運ぶようになったんですね。

落語家になろうと思われたのは、その頃ですか？

兼好 まずとにかく、魚河岸が辛すぎたので(笑)、なんとかそこを抜け出すためには、「そうだ、落語家になろう」と(笑)。で、三遊亭好楽師匠に弟子入りすることを思い定めて、オートバイに乗って師匠の家を探していたら、偶然、師匠が歩いていまして(笑)。もう驚いて、急いでオートバイを降りて「弟子にしてください!」と言ったら、「ヘルメットを取れ」と(笑)。ものすごく慌てていて、ヘルメットを被ったままだったんですね(笑)。もちろんフルフェイスじゃないですよ、帽子タイプのヘルメット。って、全然褒められた状態ではないですよ。脱帽もせずに「弟子にしてください!」と言ってるんですから(笑)。今思い出しても、冷や汗が出ます。よく弟子入りが許されたものだ。

奥さんやお子さん抱えての修行時代は、
大変ではなかったですか？

兼好 入門したての頃、師匠のおかみさんがね、「いっぱい野菜を貰ったんだけど、食べきれないし、腐らすといけなから、持ってきた」と、よく野菜をくださったんですよ。今思うとね、そんなにいつも、

余るほど野菜を貰うわけがない(笑)。丁度4人分くらいのカレーの材料が余るわけがない(笑)。師匠と、師匠のおかみさんには、本当に感謝しています。まあ私は、自分の好きなことをしてただけですが、うちのかみさんは、いろいろ大変だったろうなあと思います。いつの間にか着物も縫えるようになってましたから(笑)。「反物で貰うと安いよ」とか言ってましたね(笑)。

そして、二ツ目になれました。
その時のお気持ちは？

兼好 実は、前座の頃から師匠に、「お前は遅く入った(入門した)のだから、かなり先の方を見ないと駄目だよ。目標として、真打を目指していたんじゃあ駄目だよ。真打になって数年後にどうしているかということ、前座の今から考えていないと駄目だよ」と言われていたんですね。だから二ツ目どころじゃなくて、「真打の数年後」のことばかり考えていました。

その頃「真打の数年後」を、
どのように見据えていらっしゃったのでしょうか？

兼好 前座時代にね、自分は、うちの師匠のよう



にはなれないと強く思ったんです。うちの師匠って、根っからの落語家なんです。言い換えれば落語家以外はできないというか。そんなふうにはなれないと思った自分が、他の落語家には無いものを持つとしたら何だろうと考えた末に、「明るい高座を目指そう」と思ったんですね。なんとなくですが、そこを目指している方が少ないような気がして。ですから、努めて明るい高座を心がけて、日々精進してきたつもりです。

そして、晴れて真打になれました。

兼好 そう、だから真打になっても、自分としてはまだ先を見てはいたのですが、まずはとにかく、かみさんに、「落語家として、一区切りついたよ」って報告できるなど思いましたね。

三鷹では毎年春に、
桃月庵白酒さんとの二人会を
お願いしてきました。

兼好 星のホールって会場のサイズが程良くて、演るほうも演りやすいし、聴くのに、丁度いいんじゃないかなと思います。それに、三鷹のお客さまって、笑ってくださるところは大いに笑ってくださるし、きちんと聞いてくださるところは聞いてくださる。ありがたいですね。

そして、この秋、満を持しての独演会です。

兼好 独演会ということで、時間もたっぷりありますし、いろんな事を、自分らしく、じっくりと丁寧に演れたらと思います。ぜひ、楽しんで帰ってください。お待ちしております。

6月9日 三鷹市芸術文化センターにて
インタビュー：演劇企画員 森元隆樹

爆笑を呼ぶ、軽快な語り

癖になります、三遊亭兼好

三遊亭兼好 独演会

11月23日(木・祝) 15:00開演

全席指定

託児あり

会員2,700円 / 一般3,000円 / 学生2,000円 / 高校生以下1,000円

出演：三遊亭兼好、岡大介(カンカラ三郎)、ほか *未就学児は入場できません。

完売
御礼

ここで紹介しきれなかった
インタビューの全文は、
財団ウェブサイトに
掲載しております。

芸術文化センター 星のホール



落語『春風亭昇太の道』

華の高座で、爆笑無双！
昇太の道は、昇太あるのみ！

春風亭昇太 独演会

12月17日(日) 14:00開演 会場 三鷹市公会堂 光のホール

チケット発売日 会員9月10日(日) / 一般9月13日(水)

全席指定 託児あり *未就学児は入場できません。

予約1回 4枚まで

会員3,150円 / 一般3,500円 / 学生2,000円 / 高校生以下1,000円

次から次へと湧き上がる爆笑の渦！

「笑点」の司会に加え、ドラマへの出演など、
次々と活躍の場が広がる、春風亭昇太師匠。
その魅力の真骨頂、高座の上の昇太ワールドを、
今回も、たっぷりと、お楽しみください。

新しい年の、福を呼ぶ！

鮮やかな語り、春風亭小朝

新春
初笑い
寄席

春風亭小朝 独演会

2018年1月20日(土) 14:00開演 託児あり *未就学児は入場できません。

チケット発売日 会員9月24日(日) / 一般9月28日(木)

全席指定 会員3,150円 / 一般3,500円 / 学生2,000円 / 高校生以下1,000円

三鷹の落語の初笑い寄席は、やっぱりこの人！春風亭小朝師匠の登場です。
激みの無い、その鮮やかなまでの語り口で、湧き上がっていく大爆笑！
小朝師匠の落語で大いに笑って、新しい年の福を、呼びこんでください！



太宰治文学サロン企画展示

最晩年作「犯人」と「如是我聞」

10月9日(月・祝) まで開催中

本展では、「斜陽」「犯人」をはじめとする晩年の作品の複製原稿や初版本を中心に公開し、死期が近づく太宰が志賀直哉を名指して反駁した「如是我聞」を紹介しています。心身共に追い詰められた太宰が命を削りながら訴えたこと、遺稿となった「如是我聞」から垣間見える、最晩年の太宰の姿とは…。



太宰文学サロン

太宰治作品朗読会

各回 18:00開演 (18:50終演予定)

第89回 9月15日(金)

出演 田中泰子 (朗読家)

朗読作品 「水仙」



太宰治のほか、樋口一葉、森鷗外、松本清張、向田邦子を主に朗読し、一葉記念館で朗読講師をつとめる田中泰子さんによる「水仙」の朗読です。『日本小説代表作全集』に選定された三鷹時代の名作を、田中さんの語りでお楽しみください。

第90回 10月20日(金)

出演 杉村理加 (テアトルエコー所属俳優)

朗読作品 「駈込み訴へ」



舞台や洋画作品の吹き替えや、NHKラジオ第2「朗読」で太宰治作品のほか、数々の文学作品の朗読を手掛ける杉村さん。今回は、物語の冒頭部分から読者の心を掴む太宰作品の一つである「駈込み訴へ」を朗読します。ご期待ください。

応募締切：第89回 9月5日(火) 必着 / 第90回 10月8日(日) 必着 定員：各回25名 参加費無料

応募方法：往復はがきに、①ご希望の回、②参加者氏名(2名様まで)、③代表者の住所・電話番号、④返信用はがきに宛先をご記入の上、下記太宰治文学サロン「第〇〇回朗読会係」宛にお送りください。

*ご応募は各回につき、お1人さま1通のみ。 *応募者多数の場合は抽選。

申込・問合せ 太宰治文学サロン Tel: 0422-26-9150 入館無料

〒181-0013 三鷹市下連雀3-16-14 グランジャルダン三鷹1階 開館時間：10:00-17:30

休館日：月曜日(月曜日が休日の場合は開館し、休日を除く翌日・翌々日が休館)

三鷹市山本有三記念館は、施設の改修工事实施のため長期休館中です。

*展示室等、敷地内施設はご利用いただけませんが、有三記念公園は、工事の状況によりご利用いただける場合があります。詳しくは、財団ウェブサイトでお知らせします。

休館中の連絡先 三鷹市芸術文化センター(山本有三記念館担当)

Tel: 0422-47-9100 (受付時間 8:30-17:00)

山本有三記念館

予告

次号『MARCL+ 138』
(10月31日発行)にて
発売予定の
主な落語公演

●柳家喬太郎みとか勉強会	2018年2月24日(土) 14:00/18:00	芸術文化センター 星のホール
●柳家権太楼独演会	3月11日(日) 14:00	芸術文化センター 星のホール
●柳家花緑独演会	3月17日(土) 14:00/18:00	芸術文化センター 星のホール
●瀧川鯉昇独演会	3月18日(日) 14:00	芸術文化センター 星のホール
●立川志らく独演会	3月24日(土) 14:00/18:00	芸術文化センター 星のホール

(ほか)

予約1回あたりの購入枚数制限について

このマークの公演は発売初日に限り、1回の電話(またはインターネット)での購入可能枚数に制限がございます。制限枚数以上をご希望の場合は、再度電話をいただく(インターネットでは初期画面から操作を行う)必要がございますのでご了承ください。

予約1回 4枚まで



知的障がい・発達障がいのある
未就学児～小学生対象

サッカー教室



多くの仲間たちと一緒に、思いっきり体を動かして
「体を動かす楽しさ」や「スポーツの楽しさ」を味わいましょう!!
指導は、障がい者指導経験を持つFC東京のコーチなどが担当するので安心です。

11月5日(日) ①9:15-10:15 / ②10:30-11:45

*受付開始時間 ①9:00- / ②10:15-

【対象・内容】

三鷹市在住・在学

①未就学児(年少クラス)～小学3年生

ボール遊びを中心に、身体を動かす楽しさを体験します。

②小学4年生～小学6年生

ゲームを取り入れながら、スポーツの楽しさを体験します。

【定員】各20名 *定員を超えた場合は抽選となります。

【会場】SUBARU総合スポーツセンター『サブアリーナ』

【持ち物】動きやすい服装、飲み物、
室内用の運動シューズ、タオル

【参加費】500円(当日、受付時にお支払いください)

【講師】FC東京のコーチ ほか

【申込期間】9月27日(水)～10月17日(火)

【申込方法】講座申込システム

*写真は過去のサッカー教室の様子です。

当日は室内開催となりますので、室内用の運動シューズをご用意ください。



コーチ紹介

鯨井 健太(グラスルーツコーディネーター)

■ライセンス：JFA公認B級、
FIFAグラスルーツコース修了

■ニックネーム：くじらコーチ

日本体育大学時代より、FC東京普及部アシスタントコーチとして、指導経験を積んできた。2010年にFC東京へ加入後は、「くじらコーチ」の愛称でスクール生にも人気が高く、明るく楽しく元気に子どもたちを指導する。

スポーツ教室 パーソナルスイム好評受付中!

マンツーマンならではの、一人ひとりにあわせた指導を実現します!
レベル、体力、年齢に応じたきめ細やかな指導が可能です!



こんな方にオススメ!

- 水が怖くて顔をつけることができない
- 学校の授業までに泳げるようになりたい
- 25m泳げるようになりたい
- 4泳法をマスターしたい
- フォームを直してもらいたい
- 大会にむけて競泳のタイムを今より上げたい
- もっと長い距離を泳げるようになりたい
- 運動不足の解消をしたい

【対象】小学生以上 【定員】各日8名

【申込方法】予約制(前日までに電話または地下1階の運動施設事務室にてご予約ください)

【開催日】9月4日(月)・9月11日(月)・9月18日(月)

*10月以降の開催日は、お電話または地下1階の運動施設事務室までお問い合わせください。

【時間】15:00-17:00(1回30分) 【料金】3,200円(1回30分)

第3期(10～12月) スポーツ教室の募集について

SUBARU総合スポーツセンターのHPにて掲載中!

【申込締切】9月5日(火) 必着  往復はがき申込 *詳細はHPをご覧ください。

【申込方法】講座申込システムまたは往復はがき

【抽選発表日】9月9日(土)《往復はがき申込の方は当落はがき発送日》

【正式手続き期間】9月13日(水)～23日(土)

受付場所：1階特設受付(プール出入口スロープ横)

受付時間：10:00-17:00

【教室開催期日】10月7日(土)～12月22日(金)

*都合により変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

*正式手続き期間終了後、定員に空きのある教室は途中参加が可能です。

お電話または地下1階の運動施設事務室までお気軽にお問い合わせください。



おすすめプログラム

- ・各種キッズプログラム
- ・健康体操教室
- ・各種水泳教室
- ・バレトン(バレエ&ヨガ&筋トレ)
- ・ステップエクササイズ など

申込・問合せ SUBARU 総合スポーツセンター 〒181-0004 三鷹市新川6-37-1 元気創造プラザ内

Tel: 0422-45-1113 【HP】<https://www.mitakagenki-plaza.jp/sports/>

開館時間：9:00-22:00 休館日：毎月第4月曜日(第4月曜日が祝日の場合は翌日)

【講座申込システム】<https://www.kouza.mitakagenki-plaza.jp>

【平成29年度 市民大学一般教養コース】

“楽しむ”子育て～親の「ねがい」、子の「こころ」～

受講料無料
保育付き!!

「一人で悩まない、最新心理学の知恵」

上手な子育ては、子の一生にはもちろん親の一生にも大きく関わってくるでしょう。いえ、孫子(まごこ)の代にも…。そのためには単に常識や経験だけではなく、心理学や教育学などのきちんとした理論に沿った子育てが大切です。この講座では、最新の理論をやさしい言葉で分かりやすく解説します。しっかりと学び、実践に生かしましょう。そして子育てを楽しみましょう!

10月3日～11月28日 火曜日【全9回】

10:00-12:00 会場 学習室(元気創造プラザ4階) 受講料: 無料

日にち	内容
9/26	保育説明会(保育付きの方のみ)
① 10/3	オリエンテーション/講座全体の流れと目的
② 10/10	自分の心の特徴を知る/子どもの心との関わり方
③ 10/17	上手なコミュニケーション/ 子どもを生き生きとさせる言葉かけとは
④ 10/24	親子のふれあい方/精神的なスキンシップ
⑤ 10/31	親子のよい習慣作りを/“プログラム”で人は動く
⑥ 11/7	親の生き方と養育方式/子どもの態度の変化
⑦ 11/14	子どもの“やる気”を育てる/生き生きする子の条件
⑧ 11/21	不登校やひきこもりを未然に防ぐ
⑨ 11/28	親としての生き方を考える/まとめ

【対象・定員】16歳以上の市民(在勤・在学含む) 25名

*定員を超えた場合は抽選

*抽選に際しては、平成29年度市民大学事業の総合コースおよび一般教養コースを受講していない方を優先します。

保育定員 20名

*満1歳以上の未就学児のみ

*子ども発達支援センターの一時保育「ほしのこ」の登録が必要です。

申込方法 9月4日(月)～15日(金) 窓口・電話の受付時間: 9:00-22:00

講座申込システムまたは窓口・電話でお申し込みください。

抽選結果 当選された方にのみ、はがきでご連絡します。*9月20日(水) 発送予定



講師 山田博夫

共栄大学元教授
産業能率短期大学元教授

三鷹市在住。大学卒業後民間企業で人事・教育課長を経験し、共栄大学、産業能率短期大学教授などを歴任。現在は、NPO法人三鷹経営コンサルタント協会理事、武蔵野大学仏教文化研究所研究員。専門は教育心理学、カウンセリング理論、生涯学習論。大学教育のほか、民間企業、行政機関、医療関係、学校教職員等対象の講演、研修会講師として活躍中。著書「交流分析の具体的展開」「人生設計教育」など多数あり。



親子折り紙講座(小学生以上対象)

日本の伝統的な造形文化の『折り紙』は「遊び」、「教育」、「異文化交流」、「リハビリテーション」など、さまざまな可能性をもっています。

折り紙は、折るコツを知ると驚くほど美しくできあがります。

親子で楽しく学び、『折り紙』の世界を広げましょう!

9月30日(土)・10月1日(日) 10:00-12:00

会場 学習室(元気創造プラザ4階) 講師 波多野則子 日本折紙協会講師

【対象・定員】市内在住・在学の

小学生以上のお子さんとその保護者12組

*保護者1名に対してお子さん2名まで *定員を超えた場合は抽選

【持ち物】はさみ、スティックのり、筆記用具 【受講料(材料費含む)】1組1,000円

申込締切 9月13日(水) 必着

申込方法 講座申込システムまたは往復はがき



往復はがき申込

お子さんのお名前(フリガナ)・学年、保護者の方のお名前(フリガナ)、郵便番号、住所、電話番号、この講座を何で知ったかを記載



体も心も軽やかな暮らし～シルバー世代の片付け方～

これまでの自分を褒め、これからの自分を応援する、シルバー世代の片付け方をご紹介します。

実家の片付けに悩んでいる子世代の方も、ぜひご参加ください。親世代のみ、子世代のみでも、また、親子と一緒に、お互いのコミュニケーションがよくなるような、そんなお話をさせていただきます。

10月30日・11月6日・13日

月曜日【全3回】10:00-12:00

会場 学習室(元気創造プラザ5階)

【定員】60名 *定員を超えた場合は抽選(市民優先)

【受講料】3,000円

申込期間 9月4日(月)～29日(金) 必着

申込方法 講座申込システムまたは往復はがき



往復はがき申込

氏名(フリガナ)、郵便番号、住所、電話番号、年齢、この講座を何で知ったかを記載

*親子での参加をご希望の場合でもお申し込みは1人ずつをお願いします。



講師 橋口真樹子

一般社団法人 親・子の片付け
教育研究所理事

アメリカ滞在中に「いつ来てもキレイな家ね」と、片付けのアドバイスを求められたことがきっかけで、整理収納アドバイザーの資格をとり起業。『家族全員の気持ちを考えるお片付け』が好評、「もっと家族のことを大事にします」、「家族が仲良くなりました」などの感想多数

申込・問合せ 三鷹市生涯学習センター

Tel: 0422-49-2521 〒181-0004 三鷹市新川6-37-1 元気創造プラザ4階

開館時間: 9:00-22:00 休館日: 毎月第4月曜日(第4月曜日が祝日の場合は翌日)

【講座申込システム】<https://www.kouza.mitakagenki-plaza.jp>

三鷹市芸術文化センター 風のホール



サヴァール・トリオ
～ケルティック・ヴィオール
9/2申込締切
9月16日(土) 15:00開演 チケット発売中 託児あり
全席指定 会員 S席 5,400円・A席 4,500円
一般 S席 6,000円・A席 5,000円
U-23 (23歳以下) 3,500円



アンサンブル・ウィーン＝ベルリン
10月1日(日) 15:00開演 チケット発売中 託児あり
P3



アリーナ・イブラギモヴァ (ヴァイオリン)
& **セドリック・ティベルギアン** (ピアノ)
10月8日(日) 14:00開演 チケット発売中 託児あり
全席指定 会員 S席 4,500円・A席 3,600円
一般 S席 5,000円・A席 4,000円
U-23 (23歳以下) 3,000円



みたかジュニア・オーケストラ
第3回オータム・コンサート チケット発売中
10月15日(日) 14:00開演 託児あり
全席指定 会員 800円 / 一般 1,000円
小学生～高校生 800円
未就学児 (4歳以上) 無料
三鷹市内在住・在学の小学生～高校生 500円



アレクサンダー・クリッヒェル
ピアノ・リサイタル
12月2日(土) 15:00開演 チケット発売中 託児あり
P4



トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア
第76回定期演奏会
2018年3月11日(日) 15:00開演 託児あり
P5
チケット発売日 会員 9月14日(木) / 一般 9月21日(木)

リハーサル見学会 要申込
3月10日(土) 14:00～15:00

三鷹市芸術文化センター 星のホール



桃月庵白酒 独演会 [完売]
9月2日(土) 14:00開演

MITAKA "Next" Selection 18th



風琴工房『アンネの日』
9月8日(金)～18日(月・祝) 全14公演
チケット発売中



日本のラジオ『カーテン』 託児あり 9/30のみ
9月30日(土)～10月9日(月・祝) 全13公演
チケット発売中



牡丹茶房『Maria』 託児あり 10/21のみ
10月20日(金)～29日(日) 全11公演
チケット発売中



CINEMA SPECIAL 三回忌・原節子
星の部 11:00 / 夜の部 16:00 上映開始
P7
9月23日(土・祝) [星の部完売] チケット夜の部発売中
『青い山脈』『続青い山脈』



New! 10月14日(土)
『誘惑』『白痴』
チケット発売日 会員 9月21日(木) / 一般 9月22日(金)



New! 11月18日(土)
『お嬢さん乾杯』『麥秋』
チケット発売日 会員 10月12日(木) / 一般 10月13日(金)



柳家権太楼 独演会 託児あり [完売]
9月24日(日) 14:00開演



柳亭市馬 独演会 託児あり [完売]
10月15日(日) 14:00開演



春風亭一之輔 独演会 託児あり [完売]
11月11日(土) 14:00開演



三遊亭兼好 独演会 託児あり [完売]
11月23日(木・祝) 15:00開演
P15



New! 城山羊の会『相談者たち』 託児あり 12/2のみ
11月30日(木)～12月10日(日) 全15公演
チケット発売日 会員 10月19日(木) / 一般 10月20日(金)
P9



New! 柳家さん喬 独演会 託児あり
12月23日(土・祝) 星の部 14:00 / 夜の部 18:00開演
チケット発売日 会員 9月10日(日) / 一般 9月13日(水)
P17



New! 林家たい平 独演会 託児あり
2018年1月28日(日) 14:00開演 予約1回 4枚まで
チケット発売日 会員 9月24日(日) / 一般 9月28日(木)
P18

三鷹市公会堂 光のホール



New! 春風亭昇太 独演会 託児あり
12月17日(日) 14:00開演 予約1回 4枚まで
チケット発売日 会員 9月10日(日) / 一般 9月13日(水)
P19



New! 新春初笑い寄席 春風亭小朝 独演会
2018年1月20日(土) 14:00開演 託児あり
チケット発売日 会員 9月24日(日) / 一般 9月28日(木)
P19

みたか井心亭



寄席井心亭 立川志らく [完売]
11月1日(水) 19:00開演



寄席井心亭 柳家花緑 [完売]
11月8日(水) 19:00開演



寄席井心亭 林家たい平 [完売]
11月15日(水) 19:00開演



寄席井心亭 柳家喬太郎 [完売]
12月20日(水) 19:00開演



New! 寄席井心亭 立川志らく
2018年1月24日(水) 19:00開演 予約1回 4枚まで
チケット発売日 会員 10月31日(火) / 一般 11月1日(水)
P18



New! 寄席井心亭 林家たい平
2018年2月21日(水) 19:00開演 予約1回 4枚まで
チケット発売日 会員 11月14日(火) / 一般 11月15日(水)
P18



New! 寄席井心亭 柳家花緑
2018年2月28日(水) 19:00開演 予約1回 4枚まで
チケット発売日 会員 11月7日(火) / 一般 11月8日(水)
P18

三鷹市美術ギャラリー

P20 企画展 届かない場所 高松明日香展
10月22日(日) まで開催中
10:00～20:00 (入館は19:30まで)

太宰治文学サロン

P19 太宰治文学サロン企画展示
最晩年作「犯人」と「如是我聞」
10月9日(月・祝) まで開催中 10:00～17:30



New! 太宰治作品朗読会 第89回
[出演] 田中泰子
9月15日(金) 18:00開演
P20 申込締切 9月5日(火) 必着



New! 太宰治作品朗読会 第90回
[出演] 杉村理加
10月20日(金) 18:00開演
P20 申込締切 10月8日(日) 必着

SUBARU総合スポーツセンター



New! サッカー教室
11月5日(日) ①9:15～ ②10:30～
申込期間 9月27日(水)～10月17日(火)
P21



New! 第3期 スポーツ教室
10月7日(土)～12月22日(金)
申込締切 9月5日(火) 必着
P22

三鷹市生涯学習センター



New! “楽しむ”子育て～親の「わがい」、子の「こころ」～
10月3日～11月28日(火曜日・全9回)
10:00～12:00
P23 申込期間 9月4日(月)～9月15日(金)



New! 親子折り紙講座
9月30日(土)・10月1日(日) 10:00～12:00
申込締切 9月13日(水) 必着
P24



New! 体も心も軽やかな暮らし
～シルバー世代の片付け方～
10月30日・11月6日・11月13日(月曜日・全3回)
10:00～12:00
申込期間 9月4日(月)～9月29日(金)

後援・協力事業

日本フィルハーモニー交響楽団コンサートマスターで活躍している
ヴァイオリニストです。熱演をお楽しみに!

ブラームスヴァイオリンソナタ全曲演奏会

10月9日(月・祝) 14:00開演
会場 三鷹市芸術文化センター風のホール
全席自由 3,000円
出演 扇谷泰朋、諸隈まり

主催・問合せ 諸隈まり 電話 090-1535-3943
三鷹市芸術文化センター
(前売・窓口販売のみ取り扱い)



国際基督教大学オルガン演奏会

10月14日(土) 17:00開演 [出演] 三原麻里
11月11日(土) 15:00開演 [出演] リウエ・タミナガ
会場 国際基督教大学礼拝堂 (三鷹市大沢3-10-2)
全席自由 2,000円 / マークル会員 1,500円 *当日会員証確認



三原麻里

リウエ・タミナガ

主催・問合せ ICU宗教音楽センター 電話 0422-33-3330
E-mail smc@icu.ac.jp
HP http://subsites.icu.ac.jp/smc/

*チケット発売初日に限り、購入枚数制限のある公演があります。
*U-23利用の中学生以上の方は、公演当日に身分証明書をご持参ください。
*学生券をお求めの方は公演当日に学生証をご持参ください。
*公演内容等に変更になる場合もございます。
*公演中止の場合を除き一度購入されたチケットの払い戻し・交換はできません。
*営利を目的としたチケットの転売は固くお断りいたします。
*情報誌の作成中にチケットが完売となる場合もございますので、ご了承ください。
*次号のMARCL*138は10月31日発行予定です。